

# 公益質屋法案特別委員會議事速記録第一號

委員氏名

委員長 伯爵川村鐵太郎君  
副委員長 男爵松岡 均平君

嘉納治五郎君  
川村 竹治君  
湯地 幸平君  
宮田 光雄君  
澤田 喜彦君  
小林嘉平治君  
風間八左衛門君

昭和二年三月十一日(金曜日)午前十時十九分開會

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) ソレデハ是ヨリ公益質屋法案ノ委員會ヲ開會イタシマス、一應當局ヨリ御説明ヲ煩シマス

○政府委員(長岡隆一郎君) 公益質屋法案ノ提出ノ理由ニ付キマシテハ、本會議ノ席上ニ於キマシテ他ノ政府委員ヨリ大體ノ御話ヲ申上ゲテアリマスルケレドモ、尙ホ附加ヘマシテ詳細ノ點ニ互リマシテ申上ゲタイト思ヒマス、我國ノ庶民金融機關中、質屋ハ古クヨリ中産階級以下ノ間ニ廣ク利用サレテ居リマスル金融機關デゴザイマシテ、殊ニ簡易ナ動産擔保ノ制度ニ依リマシテ、下層階級ノ金融上障礙トナリマスル人の信用ノ缺陷ヲ補足イタシ得マスル結果、又信用組合、無盡等ノ如ク利用者ヲ一定ノ範圍ニ限定スル必要モナク、廣ク一般ノ需要ニ應ジ得ラレマス共ニ、其貸付手續ノ簡易ナ點ニ付キマシテハ、他ノ金融機關ノ追隨ヲ許サザル所デゴザイマシテ、質屋ガ下層金融機關トシテ最も適當ナ所以ハ此處ニ存シテ居ルト考ヘル次第デゴザイマス、併ナ

ガラ現在ニ於キマスル民營ノ質屋ノ營業ノ實狀ヲ見マスルニ、其金融ノ方法ハ大體ニ於キマシテ古イ時代ノ舊慣ヲ踏襲イタシマシテ居リマス爲ニ、他ノ金融機關ニ比較イタシマスル時ハ其發達ガ著シク後レテ居ル感ガゴザイマス、殊ニ社會政策ノ見地ヨリ見マスル時ハ、遺憾ノ點ガ誠ニ少クナイノデゴザイマス、是ガ新ニ營利ヲ離レマシタ公益的質屋ノ經營ヲ致シ、是等庶民階級ニ對スル金融ノ便益ヲ圖ル必要ガアル所以デゴザイマス、公益ヲ目的ト致シテ居リマスル質屋ノ經營ハ既ニ古イ時代ヨリ歐羅巴諸國ニ於テ行ハレテ居リマシテ、其成績頗ル顯著ナルモノガゴザイマス、我國ニ於キマシテモ、近來、地方公共團體又ハ社會事業團體タル公益法人ニ於キマシテ、質屋ノ經營スルモノガ出テ參リマシテ、何レモ相當ノ成績ヲ收メテ居リマスルケレドモ、其數ガ未ダ極メテ少ク、又經營ノ方法モ區々デゴザイマシテ、其機能ヲ十分ニ發揮シテ居ラザルモノガナインノデハゴザイマス、今日是ガ統一ノ制度ヲ樹立イタシマシテ、其普及發達ヲ圖ルノハ誠ニ急務ダト言ハナケレバナリマセヌ、質屋ニ關シマスル外國ノ法制ヲ見マスルノニ、質屋ハ專ラ公益ヲ目的トスルモノニ限リマシテ、營利質屋ノ營業ヲ法律ヲ以テ禁止シテ居ル國モゴザイマス、殊ニ佛蘭西、其他羅典系統ノ國ニ於テハ公益主義ヲ原則ト致シテ居リマス、併シ我國ノ今日ノ狀況ニ於キマシテハ、營利質屋ヲ廢止マシテ、公益的質屋ヲ以テ之ニ代ヘヤウトスル如キハ到底實行不可能デアリマスルノミナラズ、却テ實狀ニ適シナイコ

トト考ヘマスルカラ、我國ニ於キマシテハ營利質屋ト併行イタシマシテ、公益的質屋ノ發達ヲ助長イタシ、兩々相俟テ庶民金融ノ實ヲ舉ゲシムル、最も時宜ニ適シタ策ト信ズル次第デゴザイマス、此規定ノ内容ハ、各條ニ付キマシテ御質問ニ應ジテ御答ヘ致シタイト考ヘマスルガ、大體ニ於キマシテ、經營主體ヲ市町村又ハ公益法人ニ限リマシテ、貸付金額ヲ一世帯又ハ一口ニ付テ制限ハ非常ニ高イノデアリマシテ、平均三割乃至四割ニ當テ居リマスルケレドモ、公益質屋ニ於テハ月百分ノ一「コンマ」二五、即チ年一割五分ヲ超過イタサナイコトト致シマシテ、是以下ノ利率ニスルコトハ市町村公益法人ノ任意ニ致シタイト云フデゴザイマス、又利息計算ノ方法ハ營利質屋ニ於キマシテハ、此民法ノ期間ノ計算ヲ守ッテ居ル者ハアリマセヌノデ、例ヘバ月ノ終リニ質物ヲ入レル、翌月ノ初メニ質ヲ出シマスト、民法ノ期間ノ計算ニ依リマス日數日間ト云フコトニナリマスルガ、營利質屋ニ於キマシテハ、二箇月分ノ利子ヲ徵スルノガ普通デアリマシテ、一箇月ニ之ヲ負ケルト云フノガ極ク少イノデアリマス、民法ノ期間ノ計算ニ從テ居ルモノハ一軒モナイト申シテモ差支ナカラウト思ヒマス、尙ホ質物ノ拔出シ交換等ノ際ニ於テハ、所謂踊リト稱シマシテ、二重ノ利子ヲ取ルヤウニ相成テ居リマスルガ、公益質屋ニ於キマシテハ、期間ノ計算ヲ質置主ノ便利ヲ主ト致シタ次第デゴザイマス、尙ホ其他此質物處分ノ際ニハ、營利質屋ニ於キマシテハ剩

餘ガアリマシテモ返還イタシマセヌケレドモ、公益質屋ニ於キマシテハ、質物處分ニ依ル收得分ガ貸付元金及利子及手数料ヲ差引キマシテ尙ホ殘餘ヲ生ジマシタ時ニハ、之ヲ質屋主ニ返還シタイト云フ趣旨ニ相成ッテ居リマス、尙ホ助成方法ト致シマシテハ、此倉庫ノ建築費等ニ對シマシテ國費ヨリ二分ノ一以內ヲ補助スルコトト致シ、尙ホ此公益質屋ノ運轉資本ニ對シマシテハ、低利資金若クハ簡易保險積立金等ヲ貸出シマシテ資金融通ノ途ヲ講ジタイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、以上ハ大體ノ説明デゴザイマスガ、尙ホ詳細ノ點ニ付キマシテハ、御質問ニ應ジマシテ御答ヲ申上ゲル考デゴザイマス

○湯地幸平君 チョット伺ヒマスガ、一口ト云フコトト一世帯ト云フコトトハ、ドウ云フコトデゴザイマスカ、チョット解リマセヌガ

○政府委員(長岡隆一郎君) 一世帯ハ此民法ノ家ト云フコトノ嚴格ナ意味デハゴザイマセヌノデ、丁度、國勢調査ノ一世帯ト云フ文字ヲ使ッテ居リマスガ、竈ヲ共ニスルモノト云フ意味ニ御解釋ヲ願ヒタイノデアリマス、デーロハ質物一個ト云フ意味デハゴザイマセヌノデ、一回ノ質契約ノコトヲ普通一口ト申シテ居リマス、即チ時計ト鎖ト持ッテ參リマシテ質ニ入レマシタ場合ニ、時計一個、鎖一個、合セテ二個デゴザイマスガ、矢張り之ヲ一口ト申シテ居リマス

○湯地幸平君 サウシマスルト、下宿屋ノヤウナ所デ金ヲ借りル時ニ、矢張り多勢ノ人ガ宿泊シテ居ル、矢張りソレハ一世帯ト

看做スノデアリマス。二三人ノ家族ガ居ル家モアレバ、下宿屋ノヤウニ大勢ノ人ガ居テモ、矢張り一世帯デゴザイマス。

○政府委員(長岡隆一郎君) 下宿若クハ旅館等ニ付テハ、一世帯ト見テ居ラヌサウデアリマス。

○男爵松岡均平君 私、今ト同ジコトデアリマスガ、一口ト申シマス、アレデスカ、幾口ニデモ借りラレルノデスカ、ソレニハ制限ハナイ譯デスカ、幾口借りテモ宜イ譯デスカ。

○政府委員(長岡隆一郎君) 御質問ノ通りト考ヘマス。

○男爵松岡均平君 百圓ヲ超エナイ以上ハ……

○政府委員(長岡隆一郎君) ハイ

○男爵松岡均平君 ソレニ付テ、モウ一ツ生業資金トシテ貸付ヲ爲スト云フコトハ、此アレドウ云フ風ニ御ヤリニナルノデアリマセウカ、事實問題デセウカ。

○政府委員(長岡隆一郎君) 生業資金ニ付キマシテハ、貸出シノ際ニ調査ガ多少困難ヲ感ズルカト考ヘテ居リマスガ、從來ノ此營利質屋ガ下層階級ノ金融機關トシテ非常ニ便利ヲ與ヘテ居ルト云フコトハ、先程モ申上ゲマシタガ、唯タ私共ノ遺憾ニ感ジマスルノハ、其中九割内外マデ消費經濟ノ方ニ利用サレテ居ルノデアリマシテ、生産資金トシテ役立テ居ル點ハ、極ク僅カナンデ、一割ニモ足リナイト記憶イタシテ居リマス、此消費經濟ノ方モ無論必要デアリマスガ、將來、公債質屋ニ於キマシテハ、生業資金トシテ貸出ス便利ヲ圖リタイ、ソレニ付キマシテハ、此質物ノ關係カラ多額ノ貸出シヲスルコトハ困難ノヤウデゴザイマス。レドモ、町村等ニ於キマシテハ本人ノ身元等モ能ク分リマスシ、又都會地ニ於

キマシテモ、細民部落ニ於キマシテハ、今日、方面委員ト云フヤウナモノガ出來テ居リマスカラ、ソレ等ノ證明ガゴザイマシテ、非常ナ勤勉ナ著實ナ者デ、資金ノ返還ハ確カデアルト云フヤウナ者ニ對シマシテハ、成ルベク此多額ノ貸出ヲ長期ニ致シマシテ、サウシテ其小資本ヲ與ヘルヤウナ途ヲ開キタイ、斯ウ云フ考デ、原案ニハ生業資金ト云フコトヲ掲ゲマシタノデアリマス、大體、今マデ調査イタシマシタ例ニ依リマスルト云フト、如何ニ小資本ト申シマシテモ、百圓乃至三百圓位ノ資本ガゴザイマセスト、小サイ商賈デモ始メラヌヤウナ狀況ニ相成テ居ルノデアリマス。

○湯地幸平君 チョット伺ヒタイ、此一世帯百圓ト云フト、假リニ一箇月ノ期限デ百圓借りレバ、一年ニ一世帯デ千二百圓タケハ借りラレルト云フ譯デスカ、毎月、月借リニシテ返シテハ借り、返シテハ又一月借リルトスレバ、百圓ヲ十二箇月デ千二百圓借りラレルコトニナリマス。

○政府委員(長岡隆一郎君) 第四條ノ制限ハ貸付現在高ヲ抑ヘテ居ルノデアリマシテ、一遍質ヲ受出シマシテ金額ヲ償還イタシマスレバ、何回デモ繰返シテ貸セル譯デゴザイマスガ、現實ノ貸付金額ガ一口ニ付キ又一世帯ニ付イテ制限額一パイニ達シテ居リマスレバ、期間ヲ隔リマシテモ、是以上ノ貸付ハ出來ナイト云フ條文ノ意味ニ心得テ居リマス。

○男爵松岡均平君 サウシマスルト、アレデスカ……一世帯ニ付テ百圓ト云フ制限ダケヲ設ケテ置ケバ、一口ノ制限ハ設ケナクテモ宜ササウニ思フノデスカ、何カソコニ違フ所ガアルノデアリマス。

○政府委員(長岡隆一郎君) 其點ハ、最モ御議論ガアル點ト考ヘマスガ、要スルニ、

此市町村ノ運轉イタシマスル資金ト云フモノハ、サウ多額ニゴザイマセスカラ、成ルベク此中產階級以下ノ者ニ廣ク此貸付ヲ致シタイ、ドウモ此營業的ノ立場ニナリマスルト、大口ノ貸付ヲ致シマシテ、質ヲ取リマシタ方ガ算盤ノ上ハ安全デ、利益ガアルノデ、動モスルト、サウ云フヤウニ流レ易イノデスカラ、資金ヲ固定セシメズシテ、多數ノ人ニ成ルベク便宜ヲ與ヘタイト云フ意味デ此第四條ノ制限ヲ設ケマシタ次第デアリマス、是ハ御承知ノ通り、衆議院デ修正サレマシテ、一口ニ付キ二十圓トアルヲ十圓、一世帯ニ付キ百圓トアルヲ五十圓ト云フコトニ修正サレマシタ、唯、此但シ書ヲ又變ヘマシテ、地方長官ノ認可ヲ受ケタ場合ニ於テハ此限ニアラスト云フ例外ヲ設ケタノデアリマス、從ヒマシテ、地方長官ガ必要ヲ認メレバ、此制限額ヲ超過シテモ宜イト云フヤウニ衆議院デ修正サレマシタ次第デアリマス、序デナガラ附加ヘテ申上ゲテ置キマス。

○湯地幸平君 矢張りドウモ此處ハハッキリ分リマセヌデスカ、質屋ニ金ヲ借りニ行タ場合ニ、一口ナラ二十圓ト云フ制限ガアリ一世帯ナラ百圓トアルガ、何カ品物ヲ持テ借りニ來タ時ニ、是ガ一口デアルカラ二十圓デアル、是ハ一世帯デアルカラ百圓デアリ宜イノデアルト云フコトノサウ云フ見分ケガ出來マセウカ、ソレデ質物ヲ持テ質屋ニ金ヲ借りニ行ク時ニ、一方ハ二十圓デアアル、一方ハ百圓マデト云フ金額ノ區別ガアリマスガ、是ハドウシテ調ベルノデスカ、是ハ一口ト看做ス、又是ハ一世帯ナラ百圓マデ宜イト、其時ニ見分ケル方法ハ、ドウシテ見分ケルノデスカ、チョット承リタイ。

○政府委員(長岡隆一郎君) 是ハ唯今迄ノ質取引ノ慣習ト致シマシテ、質札若クハ通帳ト云フモノヲ出シテ居リマス、從ヒマシテ、是ハ湯地サンモ能ク御承知ノコトト思ヒマスガ、住所氏名ノ詳カナラザル者ヨリ質ヲ取ルコトガ出來ナイト云フコトガ、質屋取締ニ規定シテアリマシテ、從ヒマシテ、質ヲ持テ參リマシタ者ノ住所氏名ト云フモノハ、質屋ノ方ニハ明ニナッテ居ラナケレバナラヌト云フコトニナッテ居リマス、從ヒマシテ、一口ノ制限ハ、質物ヲ取リマス際ニ二十圓若クハ十圓以上ヲ貸サナイ、ソレカラ又一世帯ニ付キマシテハ、例ヘバ亭主ガ既ニ二十圓借りテ居ル、女房ガ二十圓借りテ居ル、又子供ガ更ニ二十圓借りテ居ルト云フヤウナコトハ、此住所氏名及此質札若クハ通帳等ノ働キニ依リマシテ、此點ハ格別ニ便ヲ唯今マデモ感ジテ居リマセヌノデ、唯今、現ニ公營質屋ヲ經營シテ居リマスノガ數十箇所ゴザイマスガ、矢張り此貸付高ニ付キマシテハ、一口若クハ一世帯ト云フコトニ付テ多ク制限ヲ設ケテ居リマス、尤モ其額ハ高イノモ、廉イノモゴザイマスガ、兎モ角モ一世帯若クハ一口ト云フコトノ制限ハ、金額ノ上下ハ別ト致シマシテ、設ケテアリマスノデ、此取引ニ付テハ實際上、格別ニ便ヲ感ジテ居ラナイ次第デアリマス。

○小林嘉平治君 大變是ハ結構ナ所謂社會政策ヲ行ハレル上ニ新シイ法案デアルト喜ンデ居ル次第デアリマスガ、大體、政府ハ確カハ十萬圓カノ補助ト云フコトデアリマスガ、此計畫ハ毎年ドノ位ゾ、殖ヤシテ行カウト云フ御計畫デ樹テ、居ル譯デセウカ。

○政府委員(長岡隆一郎君) 是ハ申上ゲルマデモナク、經營主體ガ市町村又ハ公益法人デゴザイマスカラ、其經營主體ガドレ程希望ヲ持シマスカ、チョットハッキリハ

申上ダ難イノデゴザイマスガ、大體率直ニ申上ダマス、何處ノ此市ニモ市會議員ノ中ニ質屋ノ方ガ一二居ルノデアリマスノデ、ナカ〜此案ハ市會ヲ通り難イノガ普通デゴザイマシテ、サウ澤山ハ出テ來ヌデアラウト云フ見込デゴザイマス、十萬圓ハ此倉庫ノ建築費若クハ其初度調辦費ニ限ッテ居リマスノデ、大體、此倉庫、事務所等ノ建築費二萬圓、其半額ヲ補助イタシマス積リデアリマス、初年度ニ於テハ十箇所グラ半倉庫ノ建築費トシテ申請ガアル見込デゴザイマス、併シ此都會地ニ於キマシテハ無論倉庫ガゴザイマセスト、質物ノ保管上、非常ニ質置主ノ不利益ニ相成リマス、御承知カモ存ジマセヌガ、今マデノ質取引ノ慣習ト致シマシテ、盜難、火災、水難、鼠喰、虫喰、滅失、汚損等ニ付キマシテハ、其質屋ハ責任ハ負ハヌコトニナツテ居リマス、從ヒマシテ、倉庫ノ不完全ナモノニ入レテ置キマス、火災デモアリマス、貸金額ハ無論質屋ノ損失ニナリマスガ、金銀ニ換ヘ難イ家ノ實ト云フヤウナモノヲ燒カレテモ泣寢入リニナルコトガアリマス、從ヒマシテ、火災ノ危險アル都會地等ニ付キマシテハ、是非倉庫ガアツタ方ガ宜シト考ヘマスケレドモ、其危險ノ少イ農村、漁村等ニ於キマシテハ、必シモ此倉庫ヲ造ラナケレバナラヌト云フコトモナカラウト思ッテ居リマス、從ヒマシテ、倉庫ノ建築ニ付キマシテハ初年度十箇所ト見テ居リマスガ、倉庫ナシデ新規ニ此質屋ヲ始メマスニ付キマシテハ、低利資金ハマダ〜運轉資金トシテ貸出シタイ、斯ウ云フ考ヲ有ッテ居リマス、來年度ニ於テドノ位申請ガ出マスカ、ソコハ明カデゴザイマセヌケレドモ、大體此法案ガ兩院ノ御協賛ヲ得、又豫算ガ成立イタシマシタナラバ、ソレニ應ジマシテ市町村等ニ於キマシ

テ追加豫算等ヲ市會ニ提出シテ、申請シテ來ルデアラウト考ヘテ居リマス、私ノ見込デハ、建築費ノ補助ガ先ゾ十箇所位ト見當ヲ付ケテ居ル次第デアリマス

○小林嘉平治君 唯今ノ御説明ヲ承リマス、此市ナドデハ割リニ申請スルモノガ少カラウト云フコトノ實情ヲ御話下サイマシタガ、ソレニ付テ私想起シマスノハ、是ハ經營ノ主體ガ市町村カ云フコトニ限ッテ居ルト云フコトガ却テ其發達ヲ妨ゲルデアツテ、個人デアツテ篤志家デアレバ、又隨分資產家階級ノ人デ、今ノ世態ニ目覺メテ一ツヤツテ見ヤウト云フ人ガ隨分アラウト思ヒマス、唯、個人トナルト計算上少シク不便ノ所ガアルト云フヤウナコトデ、個人ノ經營ヲ御認メニナラヌデアリマス、寧ロ其個人デモ構ハヌ、ドシ〜此仕事ヲ公益的ニヤレバ、御認メニナツテ獎勵法ヲ講ゼラレル御方針ヲ御採リニナツテハ如何デアリマスカ

○政府委員(長岡隆一郎君) 唯今ノ御意見ハ誠ニ御尤モト考ヘマスガ、唯此ノ政府ガ補助金ヲ與ヘマスルトカ、或ハ低利資金ヲ融通スルト云フ場合ニハ、マア個人經濟ト別ニシテ貴ヒマセスト、經理上ノ監督モ屈キマセヌデアリマス、ソレダケノ金ヲ出シマセヌデモ、唯今許可ノ内規ト致シマシテハ、一二萬圓ノ基本財産ガアレバ公益法人トシテ認可ヲド〜致シテ居リマスカラ、殊ニ其經營ヲ其方ガ法人ノ理事トシテサレルト云フコトハ最モ望マシイコトデアリマシテ、之ヲ助成スルトナリマスルト、矢張り法人トシテ致シマシタ方ガ、此經營サレル方モ、監督助成ヲ致シマス方モ、雙方便利デハナカラウカト斯様ニ考ヘテ居リマス

○湯地幸平君 今ノ御話ニ關聯シテ居ルコトデアリマスガ、是ハ現在ノ民法ノ解釋デサウ云フコトニナルカトモ思ヒマスガ、ドウシテモ現在ノ社會ヲ救フニハ、財產家ガ公共ノ爲ニ財ヲ散ラスト云フコトガ一番大事ナ問題ト思フデアリマス、ソレデ私ハ、是ハ或ル人カラ聞キマシタガ、金ヲ數百萬圓財團法人トシテ寄附シタイ、寄附シタイガ、ソレハ或ハ自分ガ金ヲ持ッテ居テモ、自分ノ子供等ニ不心得ガ出來テ、ソレヲ無クスルカモ知レヌカラ、ソレヲ財團法人トシテ寄附シタイ、併シ自分ノ家ガ破産スル時

○小林嘉平治君 唯今ノ御意見ハ誠ニ御尤モト考ヘマスガ、其篤志家ナドニ於キマシテ、或ル財產ヲ出シマシテ公益的ニ質屋ヲ經營シタイト云フ場合ニハ、財團法人トシテ許可ガ出來ルト思ッテ居リマス、其場合ニ其財產ヲ寄附サレテ、サウシテ此公益法人トシテ認可ヲ受ケマスルナラバ、サウ云フ篤志家ノ御希望ハ此法案デモ達セラレルト私ハ考ヘテ居リマス

○小林嘉平治君 唯今ノ御意見ハ誠ニ御尤モト考ヘマスガ、唯此ノ政府ガ補助金ヲ與ヘマスルトカ、或ハ低利資金ヲ融通スルト云フ場合ニハ、マア個人經濟ト別ニシテ貴ヒマセスト、經理上ノ監督モ屈キマセヌデアリマス、ソレダケノ金ヲ出シマセヌデモ、唯今許可ノ内規ト致シマシテハ、一二萬圓ノ基本財産ガアレバ公益法人トシテ認可ヲド〜致シテ居リマスカラ、殊ニ其經營ヲ其方ガ法人ノ理事トシテサレルト云フコトハ最モ望マシイコトデアリマシテ、之ヲ助成スルトナリマスルト、矢張り法人トシテ致シマシタ方ガ、此經營サレル方モ、監督助成ヲ致シマス方モ、雙方便利デハナカラウカト斯様ニ考ヘテ居リマス

○政府委員(長岡隆一郎君) 唯今ノ御意見ハ、其御趣旨ニ付テハ何等異存ハアリマセヌガ、唯、法案ト少シク離レマシテ、詰リ公益質屋法ニ依ル公益質屋ニモアラズ、質屋取締法ニ依ル質屋質屋デモナイ、サウシテ、ソレニ營業稅ヲ、其他ノ稅ヲ免除スルコトニ依ッテ目的ヲ達セシメルノデハナイカ、要スルニ、此法律ニ加ヘテ、モウ一ツ何カ中間的ノモノヲ加ヘテ見タラドウカト云フ、斯ウ云フ御意見ノヤウニ承リマシタガ、其點ハ尙ホ大藏當局トモ協議イタシマシテ、能ク研究イタスコトト致シタイト考ヘテ居リマス

○小林嘉平治君 唯今ノ御意見ハ誠ニ御尤モト考ヘマスガ、其篤志家ナドニ於キマシテ、或ル財產ヲ出シマシテ公益的ニ質屋ヲ經營シタイト云フ場合ニハ、財團法人トシテ許可ガ出來ルト思ッテ居リマス、其場合ニ其財產ヲ寄附サレテ、サウシテ此公益法人トシテ認可ヲ受ケマスルナラバ、サウ云フ篤志家ノ御希望ハ此法案デモ達セラレルト私ハ考ヘテ居リマス

○小林嘉平治君 唯今ノ御意見ハ誠ニ御尤モト考ヘマスガ、其篤志家ナドニ於キマシテ、或ル財產ヲ出シマシテ公益的ニ質屋ヲ經營シタイト云フ場合ニハ、財團法人トシテ許可ガ出來ルト思ッテ居リマス、其場合ニ其財產ヲ寄附サレテ、サウシテ此公益法人トシテ認可ヲ受ケマスルナラバ、サウ云フ篤志家ノ御希望ハ此法案デモ達セラレルト私ハ考ヘテ居リマス

○湯地幸平君 今ノ御話ニ關聯シテ居ルコトデアリマスガ、是ハ現在ノ民法ノ解釋デサウ云フコトニナルカトモ思ヒマスガ、ドウシテモ現在ノ社會ヲ救フニハ、財產家ガ公共ノ爲ニ財ヲ散ラスト云フコトガ一番大事ナ問題ト思フデアリマス、ソレデ私ハ、是ハ或ル人カラ聞キマシタガ、金ヲ數百萬圓財團法人トシテ寄附シタイ、寄附シタイガ、ソレハ或ハ自分ガ金ヲ持ッテ居テモ、自分ノ子供等ニ不心得ガ出來テ、ソレヲ無クスルカモ知レヌカラ、ソレヲ財團法人トシテ寄附シタイ、併シ自分ノ家ガ破産スル時

ニハ其財團法人ヲ解散シテ實ヒタイ、サウシテ元本ダケハ元ノ家ニ戻シテ實ヒタイト云フコトデアレバ、元本ハ却テ財團法人トシテソコヘ出シテ置イタ方ガ安心デアルカラ、元本ハ三百万圓デモ、五百万圓デモ寄附シテ宜カラウ、但シ寄附者ノ家ガ破産スル時ニハ返シテ實ヒタイ、其方ガ却テ安全デアル、ソコデ唯今ノ民法ノ法人ノ解散ノ自由ト云フコトヲ廣ク解釋シテ、寄附行為者ノ破産ノ時ハ財團法人ハ解散スル、其財團ノ寄附財産ハ元ノ寄附シタ家ニ返スト云フコトニ定款ニ定メテ實ヘバ、非常ニ自分ノ財産ヲ保存シテ行ク上ニ於テ都合ガ好イ、其利息ト云フモノハ社會公共ノ爲ニ使テ行クノデアルカラ、利息ダケハ社會ノ爲ニ利用ガ出來ルノデアルカラシテ、サウ云フ民法ノ解釋ハ出來ナカラウカ、サウナレバ元本ダケハ安全ニ社會ニ出シテ置イテ、其利息ヲ公共ノ爲ニ利用サレコトニナルカラト云フコトヲ尋ネタ人ガアリマスガ、社會局ハドウデスカ、民法ノ解釋上、サウ云フコトハムズカシイノデスカ、チヨットソレヲ御尋ネ致シマス

○政府委員(長岡隆一郎君) 唯今ノ御尋ハ實ハ突然ノ問題デゴザイマシテ、私モ能クハキリハ御答申上デラレマセヌガ、今マデノ法人ノ認可ノヤリ來リデハ、唯今湯地サシノ御話ノ條件デハ認可ハ致シテ居ラヌヤウニ考ヘテ居リマス、此點ニ付キマシテハ、若シサウ云フコトガ必要デアル、且ツ適當ト考ヘルト云フ御意見デゴザイマスレバ、許可出來マスカ否カ、モウ少シ法律的ニ研究イタシテカラ申上ゲタイト考ヘテ居リマス

○湯地幸平君 ドウカ……内務省ノ方デソレガ出來得ルモノナラバ、斯ウ云フ御解釋ノ程ヲ希望イタシマスガ、サウシマス、元

本ヲ失ハヌデ利息ヲ社會ノ爲ニ色々利用シテ社會ヲ救フト云フコトニナリマスカラ、私ハ社會政策上非常ニ宜イダラウト考ヘルノデアリマス、ドウカ、内務省ノ方ニ於テ御研究ヲ願ヒタイ、ソレカラ此問題ニ付テチヨット御尋ネシタイノハ、若シ此質物ヲ無クシタ場合ニ於テ、民法上損害ヲ要求セラレタ時ニハ、是ハ公益法人ノ理事トカ従業員ガ其責ヲ負フノデアルカ、ソレカラ町村ガ經營スル時ニ、其町村ガ損害賠償ヲシナケレバナラヌカ、チヨット伺ヒタイ

○政府委員(長岡隆一郎君) 先程チヨット申上ゲタヤウニ、從來ノ質契約ノ慣習ト致シマシテ、質物ノ滅失、其他ノ場合ニハ、不可抗力ニ依リマスル場合デモ、不可抗力ニ依リマセヌ場合デモ、貸付金額ニ付テハ質屋ノ負擔トナリ、質物ニ付テハ質屋主ノ損害ニナルト云フコトニ相成テ居リマスノデ、是ハ或ハ民法ノ善良ナル管理者ノ不注意ト云フヤウナコトカラ申シマスルト、或ハ訴訟ヲスレバ質屋主ガ勝ツカモ知レマセヌ、併シ實際ハ質屋主ハ貧困ナル者デアリマスルカラ、辯護士ヲ雇フテ訴訟スルト云フヤウナコトモ出來マセヌノデ、事實、損害賠償ヲ請求シタ例ハ聞イテ居リマセヌ、併シ法律問題トシテハ無論御質問ノヤウナコトガ起ルノデゴザイマスガ、其場合ニハ無論申ス迄モナク、是ハ市町村若クハ公益法人ノ損害ト相成ルノデアリマス、或ハ餘計ナコトヲ申上ゲルヤウデスカ、質屋ガ盗品又ハ遺失品ヲ質ニ取リマスルト、警察官ハ無償デ之ヲ徵收シテ被害者ニ還付スルト云フコトニナッテ居リマス、質屋取締法ノ十六條デゴザイマスガ、ソレニ依リマシテ、警察官カラ無償デ徵收サレタ例ハ今マデ公益質屋ニゴザイマス、其場合ニハ市町村ノ會計ノ損失ニ相成テ居ル次第デアリマス

○男爵松岡均平君 矢張り此四條ニ付テデアリマスルガ、此二十圓ト百圓ニ付テ衆議院ノ修正ガアツタ相デスカ、是ニ付テノ政府ノ御考ヲ……

○政府委員(長岡隆一郎君) 是ハ色々衆議院デ議論ガアリマシテ、實ハ議決モ延ビ延ビニ相成リマシタノデアリマスガ、其時、俵政府委員ヨリ此修正ニ付テ政府ハ考慮スルト云フヤウニ言明イタシテ居リマス、唯率直ニ申上ゲマスルト、但シ書ノ修正ガアリマセヌデ、此本文ダケノ修正デハ到底政府ハ同意出來ナイノデアリマシテ、但シ書ガ修正ニナリマシタ爲ニ、地方長官ノ認可デ此十圓、五十圓ト云フ制限ヲ更ニ上ゲルト云フコトハ出來マスカラ、此修正ニ依ッテ法案ノ趣旨ハ著シク傷付ケラレテ居ラヌヤウニ考ヘテ居リマスノデ、此衆議院ノ修正案ガ貴族院デ御同意ト云フコトデアレバ、政府モ其際ハ同意シテ宜シカラウ、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居リマス

○男爵松岡均平君 私ハ衆議院ノ速記録モ讀ンデ居ラナイノデアリマスカラ、議論ノアツタ内容ヲ一向承知シテ居リマセヌガ、政府ハ初メ二十圓ト御決メニナツタノハ、從來ノ統計ヲ基礎ニシテ御ヤリニナツタノデスカ、サウ云フ原案ノ趣旨デスカ、又衆議院ガ之ヲ訂正シタ理由等ニ付テ、モウ少シ承リタイト思ヒマス

○政府委員(長岡隆一郎君) 當初、此二十圓ト云フ制限ヲ置キマシタノハ、大體、此社會局デ細民地區ノ生計調査ヲ行ヒマシタ結果、此一世帯ノ生活費ヲ調ベテ見マスルト、大體、此二十圓アレバ七日間カ、八日間一家ノ生計ヲ平均維持ガ出來ル、緣人ガ病氣シタヤウナ場合、ソレガ一ツ、ソレカラ實費診療所ノ治療ヲ受ケマス、疾病ト云フコトハ一番起リ易イコトデアリマスガ、其金額モ

先ヅ此二十圓ト云フ點ヲ抑ヘマスルト、八日間グラキハ治療ヲ受ケ得ル、ソレカラ今一ツハ、工場法及健康保險法ニ於キマシテ出產手當金ト云フモノガ二十圓ト云フコトニ相成ツテ居リマス、大體、是モ產婆ノ謝禮デアリマス、產醫其他ノ費用ヲ見マスルト二十圓ト云フコトニ相成ツテ居ルノデ、其健康保險法、工場法ニ於キマシテモ出產手當金ト云フモノヲ二十圓ニシタノダラウト思ヒマス、ソレカラ死亡ノ際、葬式費用ヲ調ベテ見マスルト、矢張り此棺桶代、火葬場ノ一番低イ費用、ソレカラ僧侶ノ讀經代等ヲ合計シマスルト、矢張り二十圓位ニ相成ツテ居ルノデアリマス、健康保險法ニ於テモ死亡手當金トシマシテ二十圓ト云フ點ヲ抑ヘテ居リマス、ソレカラ從來ノ公益質屋ハ全國デ數十箇所ゴザイマスガ、無論高イモノハ五百圓ト云フノモゴザイマス、低イモノハ十圓ト云フノモゴザイマスガ、一番多イ所ハ矢張り二十圓ト云フノガ一番多イ數ナシ、平均マアソコ等ノ現實ヲ抑ヘテ其平均ガ適當デアラウト云フノデ、斯ウ云フ案ヲ出シマシタノデ、衆議院ノ御議論ハ之ニ依ッテ民營質屋ヲ壓迫スル嫌ハナイカ、今日、民營質屋ト云フモノノヤリ方ハ随分酷イヤリ方ヲシテ居ルガ、兎ニ角下層階級ノ金融機關トシテ舊幕時代ハモット古クカラ發達シテ來タモノデアルカラ、此營業ニ著シイ打擊ヲ與ヘルヤウナコトガアツテハイカヌ、ソレカラ此全國デ質屋ト云フモノハ一萬七千バカリゴザイマスガ、其貸付金ハ一年ニ一億五千圓バカリニ相成ツテ居リマス、件數ニ致シマスルト二千四百萬件バカリニ相成ツテ居リマス、一口ノ平均額ハ六圓何十錢、稍、七圓ニ近キ平均額ニ相成ツテ居リマス、ソレデ貸付平均ガ七圓ナラバ、五圓カ七圓トコロデ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ衆議

院ノ御議論デアツタノデスガ、併シ私ドモツレニ答辯イタシマシタノハ、最高制限額ト平均額トハ違フ、現在ノ民營質屋ノ貸付最高ト云フモノハ、制限ハナイノデアリマシテ、多イ所ハ千五百圓モ一口貸シテ居ルノモゴザイマス、而モ其平均ハ六圓何十錢ト云フコトニナルノデスカラ、是ハ二十圓ニシテ置イタ所デ、平均矢張り一口三圓乃至四圓ニシカナルマイ、餘リ制限ヲ小サクスルト、今マデ折角無制限貸シテ居タ市町村營ノ公債質屋ガ却テ此法律ノ爲ニ困ルト云フコトニナルト、此法律ハ却テ公債質屋ノ取締若クハ撲滅案ニナツテハ困ルカラ、マア原案ヲ維持シテ吳レト云フコトデ、數回ニ互リマシテ質問應答ヲ重ネマシタ所ガ、マア此但シ書ヲ設ケテ、此地方長官ニ認可權ヲ與ヘレバ、所ノ事情ニ依ツテモト高メル必要ガアルト云フ場合ニハ、其地方長官ハ其土地ノ事情ニ依ツテ、二十圓デモ、三十圓デモ許シタラ宜イデヤナйка、又此生業資金ト云フコトニ付テハ大體修正案ノ但シ書ニ依ツテ目的ヲ達スルノデ、生業資金ニ付テハ、何百圓ト云フコトヲ地方長官ガ認可シテモ宜イ譯デアルカラ、此本文ノ方ヲイデツテモ、例外ニ於テ却テ原案ヨリモ制限ヲ自由ニスルコトヲ得ルノデアルカラ、ソレデ宜イデヤナйка、斯ウ云フコトガ衆議院ノ委員會ノ席上ノ御議論デアツテ、ソレデ色々修正説モ出マシタケレドモ、結局、此案ガ滿場一致デ委員會モ、本會議モ通過イタシタヤウナ成行キニ相成ツテ居リマス

○男爵松岡均平君 第五條ノ貸付利率、特別ノ事情アルト云フノハ、特別ノ事情トハドウ云フヤウナ意味デスカ、其御話ヲチヨット願ヒタイ

○政府委員(長岡隆一郎君) 唯今、松岡男爵ノ第五條ノ御質問デゴザイマスガ、是ハ

現實のニ我々想像シテ居ルノハ沖繩縣デアリマス、是ハ御承知ノ通り今、金融機關ガ全ク梗塞シテ居リマシテ、銀行モ全部一時潰レタト云フヤウナ狀況デアリマシテ、此沖繩縣ノ農村ノ金融ト云フモノハ非常ニ逼迫シテ居ルノデアリマシテ、町村ノ經濟モ從テ餘程窮迫ヲ告ゲテ居リマス、デ此年一割五分ト云フコトハ稍、高イヤウニモ見エマスルガ、四分八厘ノ低利資金ヲ借りマシテ、先ヅ其資金ガ八十「パーセント」常ニ運轉シテ居ルモノト計算イタシマス、人件費、物件費等ヲ入レマスト、是ダケノ利子ヲ取リマセスト、町村トシテハマア算盤ガ持テナイ計算ニ相成ツテ居リマス、殊ニ沖繩縣ハ非常ニ金利モ高イシ、町村ノ經濟モ逼迫シテ居ル、若シ一割五分以上取ツテハイケンイト云フコトデ抑ヘマスト、結局其質屋ヲ經營スルコトガ出來ナイ、即チ公債質屋ガ一ツモ出テ來ナイト云フヤウナコトニナツテハ、却テ角ヲ矯メテ牛ヲ殺スト云フヤウナコトニナル虞ガゴザイマスカラ、沖繩縣ノ如クニ、町村ノ財政モ逼迫イタシ、農村ノ金利ガ非常ニ高イ所デアリマスレバ、地方長官ハ其事情ヲ見マシテ、年一割五分ト云フ制限額ヲ超過シテモ差支ナイ、斯ウ云フマア規定ヲ置キマシタ次第デアリマス

○湯地幸平君 社會局ノ方デ農村ノ……町村ノ負債ヲ御調べニナツタモノガアリマスカ、ドウカ、私ノ知ツテ居ル二三ノ町村ノ負債ヲ調べテ見マスト云フト、ドウモ田舎ノ銀行デ大變ニ高イ金ヲ借りテ居ル者ガアリマシテ、其土地ノ生産ト云フモノガ、其利息ニ及バカ及バナイカト云フ風ノ金利ニナツテ居ル所ガアリマス、ソレハドウモ如何ニ働イテ見タ所ガ追附カナイ、デ何トカシテ之ヲ……、甚シキニ至ツテハ三割四割位ノ所モアリマセウト思ヒマス、之ヲ何カ八朱カ、少クモ一割位ニ借替ヘガ出來レバ非常ニ農村ハ浮上ルノデアリマス、非常ニ高イ利息ヲ拂ツテ居ル、其利息ノ總計算ヲシテ拂フノト、生産高ヲ比ベテ見ルト云フト、ソレデハ連モ立行カヌコトニナツテ居ル、ソレデ今迄ノ農工銀行ト云フモノハ、ドウカト云フト、農工銀行ハ中央カラ金ヲ百萬圓ナリ、二百万圓ナリ持ツテ歸リマシテ、其百萬圓ナリ、二百万圓ナリ持ツテ歸ツテ、ドウスルカト云ヘバ、矢張り持ツテ歸ツタ金ハ地方ノ普通ノ銀行ガ困ツテ居ルカラ、ソレニ十万圓ナリ、二十萬圓ナリ融通シテ仕舞フ、ソレデ普通ノ銀行ハ二割三割ノ高利子デ農村ニ貸スノデアリマスカラ、矢張り農村ノ方デハ大シタ利益ガナイコトニナツテ居ルノデアリマス、「デ私ハ是ハ社會上ノ大問題ダラウト思ヒマス」、農村ノ高利ノ金ヲ低利ニ何トカシテ之ヲ借替ヘサシテ、之ヲ救フト云フ事柄ハ私ハ根本ノ問題ダラウト思フ、所デ、此公債質屋、斯ウ云フモノヲ……マア無イヨリハ宜イカモ知レマセヌガ、此位ノコトデハ私ハドウモナカ……ドウシテハ救済スルコトハ出來ナカラウト思フノデアリマス、ソレデ、殊ニ所ニ依リマシテハ、チャント税金ヲ納メル時期ヲ狙ヒマシテ、惡イ米屋ナドハ米ヲ買出しニ行ク、サウスルト百姓ノ方デハ税金ノ期限ガ來テ居、テモ何處カラモ金融ガ出來ナイカラ安ク賣ル、賣ル方デハ税金ヲ納メナケレバナラヌカラ安ク賣ツテ仕舞フ、ソレデ益、困ルト云フコトニナル、之ヲ救済スル方法ヲ政府ニ於テ講究シナケレバ到底立行カヌト思ヒマス、デ内務省デハ御承知カモ知レマセヌガ、三重縣ノ何トカ云フ村ニ一ツノナニガアリマス、村デ銀行ノヤウナコトヲシテ居ルノガアリマス、サウシテマア税金ナドヲ滞納シナイヤウニ、又餘リ米ヲ安賣リヨシナイヤウニマルト云フコトガ、三重縣ノ或ル村ニアリマスルガ、斯様ナモノヲモウ少シ擴張シテ、

サウシテ此農村ヲ救フト云フコトニサレタナラバ、私ハ餘程宜カラウト思フノデスガ、第一社會局ニ於テ、各農村ノ借金ト云フモノガ……負債ガ幾ラアルカ、サウシテ其利息ハ一箇年ドノ位ツ、拂ツテ居ルカト云フコトニ付テ、何カ調査サレタモノガアリマスカ、ドウデスカ、ソレヲ承リタイト思ヒマス、若シ調査サレタモノガアルナラバ、ソレヲ戴キタイ

○政府委員(長岡隆一郎君) 唯今ノ湯地サシノ御質問ハ此町村ノ負債……町村民ノ負債デスカ

○湯地幸平君 サウデス

○政府委員(長岡隆一郎君) ソレデゴザイマス、此町村ノ起債額ニ付キマシテ、若クハ其利率ニ付キマシテハ取調ベタモノガゴザイマスルガ、町村民毎ノ負債高若クハ此利率ト云フコトヲ全國的ニ調ベタモノハゴザイマセヌ、唯、農林省ニ於キマシテ農家生計調査ト云フモノヲ致シタコトガゴザイマス、ソレカラ又過日統計局ニ於キマシテ矢張り此生計調査ヲ致シタモノガゴザイマス、併シ是ハ全國ヲ「センサス」ニ依ツテヤリマシタモノデハ實ハゴザイマセヌノデ、マア代表的ノモノヲ抽出シマシテ、詰リ自作農ト自作農兼小作農、純粹ノ小作農ト云フヤウナモノヲ抜き検査のニ調ベタモノガゴザイマスカラ、之ヲ以テ全般ヲ推スコトハ或ハ危險カトモ考ヘテ居リマス、農林省ノ農家生計調査ニ付キマシテハ既ニ懸マツテ居リマスガ、是ハ稍、古イモノデゴザイマス、ソレカラ統計局ノ方ハ今は出來カカツテ居リマスガ、未ダ印刷ハ出來テ居ラヌト考ヘマス、丁度、御註文ノヤウナ全國ノ農家ノ全部ニ互ツテ「センサス」的ニ負債ノ調査シタモノハマダゴザイマセヌ

○小林嘉平治君 先程御尋ネシタコトニチヨット聯關ヲシテ居リマスガ、此第一條ニ依

リマシテ所謂産業組合ガ主體トナッテ仕事  
ガ出來ルノデゴザイマスネ

○政府委員(長岡隆一郎君) 此第一條ノ公  
益法人ハ民法ノ三十四條ノ公益法人ダケデ  
ゴザリマスカラ、産業組合ハ産業組合法ノ  
適用ヲ受ケマスル結果、質契約ト云フコト  
ハ出來ナイコトニナッテ居ルヤウニ存ジテ  
居リマス

○小林嘉平治君 實ハ其點ニ疑問ガアッ  
ンデ御尋ヲシタノデアリマスルガ、先程私ガ  
御尋ネシタヤウナ趣旨カラ言ヒマス、産  
業組合ガ主體トナッテ此公益質屋ヲヤルト  
云フヤウナコトハ、最も適切ナ方法デハナ  
イカ知ラヌト考ヘルノデアリマスガ、此質  
屋法ヲ發布サレルニ當ッテ其點ヲ考慮サレ  
タノデアリマスガ、ドウデアリマスガ、伺  
ヒマス

○政府委員(長岡隆一郎君) 御承知ノ通り  
産業組合ハ所謂貯金モ扱ヒマスシ、貸付モ  
致シマスガ、此法ノ本來ノ立法方ガ産業組  
合ニ加入シテ居ル組合員、若クハ其家族ト  
云フコトニ取引先ヲ限定サレテ居リマス、  
從ヒマシテ、其産業組合ノ中、主トシテ信  
用組合ノコトヲ御指摘ノコトト存ジマス  
ガ、信用組合ニ加入シテ居ルモノニ對シマ  
シテ或ル金額ヲ貸付ケル、ソレニ對シテ或  
ル擔保ヲ取ルト云フコトハ、是ハ信用組合  
ノ性質上當然出來ルト考ヘルノデアリマス  
ケレドモ、組合員以外ニ産業組合ノ資金ヲ  
貸付ケルト云フコトハ、産業組合法ニハ認  
メテ居リマセヌノデ、組合ノコトハ能ク御  
存知ノコトト考ヘマスガ、産業組合ハ申上  
ゲル迄モナク組合員ノ相互扶助ト云フヤウ  
ナコトガ精神ニナッテ居リマスル結果、組合  
員以外ノ一般ノ人ニ對シテ組合ノ基金ヲ  
貸付ケ、質取ヲ致スコトガ産業組合ノ性質  
上チヨット困難カト考ヘテ居リマス  
○小林嘉平治君 能ク其點ハ私モ承知イタ

シテ居ルノデアリマスガ、今日ノ産業組合  
ナルモノハ創立當時トハ餘程變テ參リマ  
シテ、殊ニ市街地ノ信用組合ナンカ殆ド銀  
行ト同ジヤウニ組合以外ニモ取引ヲシテ居  
ルト云フ現實ガアルノデスカラ、此公益質  
屋ノヤウナ仕事ハ何方カト云フト、其組合  
員ニモ這入り得ナイヤウナモノガ實ハ質屋  
ヲ利用シテ居ルト云フヤウナコトガ多イノ  
デアリマシテ、農村ニ於ケル所ノ産業組合  
ガ恰モ市街地信用組合ニ於テ組合員以外ニ  
モ取引ノ、或ル制限ヲ附シテ出來ルヤウナ  
風ニ農村ニ於テモ産業組合法ヲ改メテ此公  
益質屋ヲ行ヒ得ルコトニシタナラバ、先程、  
私ガ御尋ネシタヤウナ趣旨ヲ達スル上ニ於  
テ大變好都合デアルト云フヤウナコトヲ痛  
切ニ感ズルノデアリマスガ、是ハ餘程、公  
益質屋法ヲ設ケルニ付テ御考慮下サラネバ  
ナラヌ問題デアラウト思ヒマスガ、如何デ  
アリマセウ

○政府委員(長岡隆一郎君) 實ハ打明ケテ  
申シマス、産業組合ノコトハ主管官廳ノ  
農林省ト協議ハマダ致シテ居リマセヌ、併  
シ私ノ想像デハ、産業組合ガ此廣ク組合員以  
外ニ質契約ヲ致シテ、資金ヲ貸付ケルト云  
フ途ヲ開クト云フコトハ、農林省ノ同意ヲ  
得ルコトハ困難デアラウト、私ハ考ヘテ居  
リマス、向ホ能ク考慮イタシテ置キマス

○川村竹治君 私人他ノ委員會ニ居リマシ  
テ、政府當局ノ御説明ヲ唯今伺ハナカッタ  
デアリマスルガ、此衆議院ニ於ケル委員會  
ノ速記録ニ依ルト、長岡政府委員ノ説明ハ、  
今度ノ公益質屋法ト云フモノハ、新ニ營利  
ヲ離レマシタ公益質屋ノ經營ヲ致シマシ  
テ、是等庶民階級ニ對スル金融ノ便益ヲ圖  
ル必要ガアルト信ジタ次第デゴザイマス、  
ト述べテ居ルヤウデアリマス、要スルニ、是  
ハ公益ヲ目的ト致シテ居ル質屋ノ營業ヲス  
ルト云フコトデアリマセウガ、現行ノ質屋

取締法ナルモノハ、大體明治二十八年カノ  
制定ニ掛ッテ居ルヤウデ、時代ノ進運ニ伴  
ナイモノガアラウト思ヒマスルガ、政府ハ  
此法律ヲ改正シテ、ウウシテ時代ニ適應ス  
ルヤウナモノニシテ、此下層社會ノ金融機  
關ニ對シテ一大改善ヲ加ヘタイト云フ御意  
思ガ無いノデアリマセウカ、又有タイトスレ  
バ、目下ドウ云フ風ナ御調査ノ程度ニナッ  
テ居ルカ、ソレ等ノ邊ヲ詳細ニ承リタイト思  
ヒマス

○政府委員(長岡隆一郎君) 質屋取締法ハ  
規定ガ頗ル不完全デアルト云フ點ハ全ク唯  
今御話ノ通りデアリマシテ、殊ニ法人處罰  
ノ規定ガアリマセヌト點ノ如キ、其他色々  
取締ニ不便ヲ感ジテ居ル所ガ多イヤウデア  
リマス、是ニ付キマシテハ數年前ニ貴族院  
ニ於キマシテ、是ガ改正ヲ望ムト云フヤウ  
ナ御議論モ拜聴イタシタコトガアルノデア  
リマス、是ハ實ハ能ク御存ジノコトデゴザ  
イマスガ、昔カラ警保局ニハ質屋取締法ノ  
改正ノ調査ハアリマシタノデ、率直ニ申上  
ゲマス、私ガ警務課ニ居リマシタ時ニ立  
案ヲ致シタコトガアルノデアリマス、又數  
年前ニ警保局ニ於テ更ニ案ヲ作リマシテ調  
査シテ居ルヤウデアリマスガ、是ハナカ  
ナカ一般ノ質屋主ノ便利ヲ圖ルト云フ一ツ  
ノ點ト、ソレカラ質屋ノ營業者ガ希望イタ  
シマスル點ト、兩方調和シ難イヤウナ困難  
ナ點ガ澤山アルノデゴザイマシテ、ナカ  
ナカ此成案ヲ得ルノニ困難ヲ感ジテ居ルヤ  
ウデゴザイマス、併シ此コトニ付キマシテ  
ハ、過日、衆議院ノ委員會ニ於キマシテモ私  
カラ申述ベマシタガ、兎モ角モ、近キ將來ニ  
於テ質屋取締法ハ改正ヲシナケレバ相成ラ  
ヌト心得テ居リマス、向ホ此衆議院ニ於テ  
此公益質屋法案ヲ議決サレマシタ時ニ、政  
府ハ速ニ現行質屋取締法ヲ改正シテ、下層  
金融機關トシテ目的ヲ達スルヤウニシタイ

ト云フコトノ希望決議ガ是亦、滿場一致ヲ  
以テ決議サレテ居リマスルカラ、如何致シ  
マシテモ、此近キ將來ニ質屋取締法ハ改正  
案ヲ提出イタサナケレバナラヌト考ヘテ居  
リマス、尙ホ其コトニ付キマシテ警保局長  
ノ意見モ確カメマシタガ、然ラバ來期議會  
ニ果シテ成案ヲ得テ出セル確信ガアルカト  
云フコトヲ質シマシタ所ガ、來期議會ト云  
フコトハ御約束出來ナイ、チヨット困難カモ  
知レヌ、併シ近キ將來ニ於テ質屋取締法ヲ  
改正スルト云フコトハ御約束シテ宜シイ、  
斯ウ云フコトデゴザイマシタ、其邊御諒  
承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○委員長(伯爵川村鐵太郎君) 皆サンニ御  
諮リ致シマスガ、委員ノ方々カラモチヨット  
御申出ガアリマシタガ、大體ニ付テ政府ノ  
御説明ヲ承リマシタシ、今日ハ此儘是デ一  
應濟マセマシテ、更ニ明日ナリ、明後日ナ  
リ、委員課ノ都合ニ依リマシテ會議ヲ開ク  
コトニシテ、其間、相當研究スル機會ヲ皆樣  
御有チニナルヤウニシタラドウカト思ヒマ  
ス、如何デゴザイマセウカ

〔贊成〕異議ナシト呼フ者アリ  
○委員長(伯爵川村鐵太郎君) ソレデハ此  
次ノ會ハ彙報御知ラセスルコトニ致シマ  
ス、本日ハ是ニテ散會イタシマス  
午前十一時二十一分散會  
出席者左ノ如シ

委員長 伯爵川村鐵太郎君  
副委員長 男爵松岡 均平君  
委員

川村 竹治君  
湯地 幸平君  
小林嘉平治君  
政府委員  
內務參與官 鈴木富士彌君  
社會局長官 長岡隆一郎君